

やまびこ館への招待

秋季企画展「月を慕う」

11月25日（日）まで開催中

やまびこ館では、月をテーマにした企画展「月を慕う」を開催中です。江戸時代の美術作品に表現された、しっとりとした月の雰囲気を味わうことができます。また、科学的な分野では、写真やイラストを見ながら月についてのいろんなことを知ることができます。

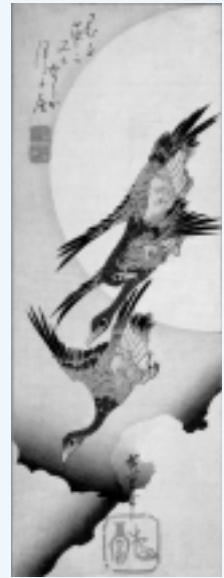
今回は展示品の一つ、歌川広重の浮世絵短冊をご紹介します。昭和24年に郵便切手として発行された「月に雁」と同じ図柄です。江戸時代後期に活躍した広重は「東海道五十三次」など風景画などで有名な浮世絵師ですが、鳥や魚などを間近にとらえた花鳥画も制作しています。彼の描く生物はどれも、克明にその姿を写すというよりも、そのもの「らしさ」を表現しようとした感があります。この絵でも、飛ぶ雁の姿として

は不自然なところはありますが、秋の夜空にさえわたる月の光のもと、一夜の宿を求めて滑空する渡り鳥の哀愁が、画面からにじみでていきます。この作品は11月6日から展示されます。ぜひ、ご鑑賞ください。

ギャラリートーク / 会期中の
毎週土曜日午後2時30分～3時

やまびこ講座

11月	11日(日) 14:00 } 15:30	近代化の断章 ～鳥取の場合～	先着30人 (電話申し込み)
	18日(日) 14:00 } 15:30	オウチダニの 歴史的環境	先着30人 (電話申し込み)
	25日(日) 14:00 } 15:30	「月を慕う」 展示資料から	先着30人 (電話申し込み)



「雲上の大輪の月に雁三羽」
(神奈川県立歴史博物館所蔵)

やまびこ館 (☎23 2140)



第17回 国民文化祭・とっとり2002

夢フェスタ とっとり通信

～ふるさと ふれあい 夢づくり～
平成14(2002)年10月12日～11月4日



鳥取華道連合会
会長 太田 瑛子 氏

心の時代、文化の時代といわれている21世紀の今日、平成14年に鳥取県で「第17回国民文化祭とっとり2002・夢フェスタとっとり」が実施されることは、たいへん有意義なことです。

大華道展の会場が、鳥取市に決定した時点で県内16流派の教授者たちは、実行委員会を結成。「第12回国民文化祭かがわ 97」、「第15回国民文化祭ひろしま2000」を視察するなど、私たち連合会の取り組みも本格化してきました。

今年度は、リハーサルを兼ねた「プレ夢フェスタとっとり」に参加します。本番と同様の規模で11月2日から5日まで鳥取市福祉文化会館で開催します。ぜひご来場ください。

花のいのちを21世紀に

ある日、何か新鮮なアイデアはないものかと考えていたところ、「マア、きれい！」と言う幼な子を見かけました。その子の指す方を見ると、白いむくげの花が、朝露をふくみ、細い枝にたわわに咲き乱れ、くす玉のような美しさでした。季節の初花、生命の美しさを、幼き人に教えられた思いでした。

大華道展では、子どものいけ花教室・体験コーナーを設けてはと考えています。花を瓶にいけた感動、喜び、驚き、体験が、小さな思い出となり育っていくことを念じながら、日本の伝統、伝承をいけばなを通し、確かに21世紀へ伝えたいと願っています。